

会 議 録

会 議 名	第28期小金井市公民館運営審議会第16回審議会		
事 務 局	公民館		
開 催 日 時	平成19年3月23日(金)午後2時30分から午後5時		
開 催 場 所	公民館本館 学習室A・B		
出 席 委 員	島田委員長 田頭副委員長 今川委員 大橋委員 長田委員 神島委員 熊谷委員 竹内委員		
欠 席 委 員	木村委員 道城委員		
事 務 局 員	中嶋館長 鉄谷庶務係長 中福事業係長 鈴木主査 上島主査 長堀主査 葛城主査 渡辺社会教育主事		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	2人
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 報告事項</p> <p>(1) 第1回市議会定例会について</p> <p>(2) 平成19年度予算について</p> <p>(3) 東京都公民館連絡協議会関係について</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 東京都公民館研究大会の記録CD-ROMについて</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 平成19年度東京都公民館研究大会第1回企画委員会について</p> <p style="padding-left: 20px;">ウ 平成18年度東京都公民館連絡協議会総会について</p> <p>(4) その他</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 次回の公民館運営審議会日程について</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 三者懇談会について</p> <p>2 協議事項</p> <p>(1) 平成19年度東京都公民館連絡協議会定期総会の代議員選出について</p> <p>(2) 平成19年度第45回東京都公民館研究大会企画委員の選出について</p> <p>2 審議事項</p> <p>(1) 各館事業の計画・報告について</p> <p>(2) 公民館の基本方針づくりについて</p> <p>3 配布資料</p> <p>(1) 各館事業の計画・報告</p> <p>(2) 第13・14回審議会会議録</p> <p>(3) 平成19年度予算書</p>		

## 会 議 結 果

- 島田委員長 今年度を振り返り、館長から一言挨拶をお願いいたします。
- 中嶋館長 平成18年度は、職員一同思いの深い一年になったと思います。
- 団体について、要件を整理し、要綱、規則等の整備を図り、公共施設予約システムを無事稼動することができました。21回の利用者説明会等、職員一同苦労もありましたが、実現をしました。
- 次に公民館研究大会が31年ぶりに小金井市で開催することになり、公民館連絡協議会加盟17市から428名の参加により実施されました。全体会及び8課題別集会を実施し、研修を充実する方向で実施しました。そして成果品である記録については、CD-ROM化し、費用的にも削減し、データベース化することができました。
- どこの市が事務局市になってもやれるよう、都公連の皆様、公運審委員、職員に諮りながら進め、今日に至りました。
- 非常に感慨深いものがございます。
- 島田委員長 お話しにありましたとおり、大変忙しい年でした。
- 館長、職員、関係委員のご協力もあり、公民館研究大会も高い評価をいただきました。
- 公民館運営審議会の立場から申しますと率直な意見交換と全面的な協力体制ができたと自負しております。
- 公民館研究大会では、実行委員として参加したことは、審議会委員として、少し離れた場所から審議する諮問機関から一歩出て事業に参加するという実践が基本方針づくりにも大事な経験になったと思います。

### 1 報告事項

#### (1) 第1回市議会定例会について

- 中嶋館長 2月21日から3月20日の28日間の会期が、延長で29日間となりました。一般質問、厚生文教委員会、行財政改革調査特別委員会では質問等はありませんでした。予算特別委員会では、(仮称)貫井北町地域センターについての質問があり、地域センター用地として北側の生産緑地を購入しては、という質問については、現況を確認して研究していくこと。
- 作物を作っていることについては、建設用地は柵をして管理運営をしていくものですが経過があります。昨年、話しをして作物については縮減していただき、公民館では年2回除草をして維持管理していくことと説明しました。
- 最終日に、議案13件は可決されました。

#### (2) 平成19年度予算について

- 中嶋館長 平成19年度予算につきましては、議会最終日に可決されました。概要としまして、公民館予算は1億8,983万8千円対前年度比1,597万5千円の減になっています。概ね前年度に緑分館の冷暖房改修工事1,600万円分がなくなったことに相当します。

平成19年度から企画財政部と教育委員会が枠配分方式に改められ、一次経費（毎年経常的に支出する経費）6,445万6千円、二次経費（義務的経費、人件費・公債費）1億1,417万6千円、この中には、（仮称）貫井北町地域センター年賦分1億693万9千円が含まれ、三次経費（投資的経費、政策的経費）1,120万6千円となります。

事業予算については、見直しを含めて職員と検討してきた内容であり、今後は工事、修繕、備品の購入等について、年次計画を以て対応していきます。

竹内委員 案の段階で配付していただくと勉強ができ、質問や議論ができたと思います。

また、予算に基づき、今年度の公民館はどのような方針、運営をしていくかというものを文書にしたものがあると思いますが。

中嶋館長 予算につきましては、可決後に公開とさせていただきたいと思えます。方針等につきましては、主要な施策に書かれています。

例えば、団塊の世代に対応するもの、異世代交流、貫井南分館耐震基本設計といったものがあります。

竹内委員 例えば、児童館などは1年間の方針があります。公民館は、今まで無かったが、今年も無いのですか。

中嶋館長 代わるものとして、「平成19年度学校教育及び社会教育の重点施策」があります。

島田委員長 公民館は、どこに重点を置いて、何の事業を展開し、そのためにはどういう予算が必要で、具体的な使い方はどう考えるかから進めていくべきだと思います。そのためにも基本方針が必要であると数年前から話題になっているところです。

4月の会議では、館長から新年度の方針について発言をお願いしたい。

竹内委員 清掃委託料が2,789千円増になっていますが、これは直営でやっていた清掃を委託したということですか。

中嶋館長 平成18年度まで東センターに清掃の非常勤嘱託職員2人を措置していましたが、第2次行財政改革年次計画により廃職し、委託としました。

島田委員長 経費の中に公有財産購入費貫井北町地域センター取得とありますが、地域センターが出来上がると公民館として活用できるのですか。

中嶋館長 そういう位置づけです。複合施設ですから図書館等も入ることになっております。

島田委員長 地域還元施設として位置づけられてきた経緯から考えると地元が優遇されるというような問題も生じてくる可能性はありませんか。

中嶋館長 市民参加により建設が進められることと思います。

島田委員長 地元の発言が重んじられるのはよいのですが、教育施設としての公民館の機能がきちんといかされるのか心配なところです。

竹内委員 土地を取得した目的は、地域の様々な要望に応えるためだと思います。その中には公民館や高齢者の集会施設、子育て中の方からの要望等

があり、公民館だけの施設ではなく、複合施設として計画されています。

島田委員長 複合施設であれば、公民館費で計上されるのは筋ではないではないか、予算構成上は、公民館がもう1つ出来ることになると思いますが。

田頭副委員長 先程館長が言われたのは、生産緑地を更地にするということですか。

中嶋館長 生産緑地ではなく、公民館所有の貫井北町地域センターの用地内の北一会館の西側の部分です。北一会館の前の部分は北一会館の利用者が使っています。貫井北町地域センター用地については、作物を作ることは縮減していただき、公民館で除草をし、管理してゆくということです。

田頭副委員長 せっかく用地があるのであれば、小学校や子ども会等に呼びかけて、色々な利用ができるのではないのでしょうか。

中嶋館長 検討したいと思います。

島田委員長 職員の4月異動はいかがでしょうか。

中嶋館長 退職される方は、3月31日付け、異動者は、4月1日付けの発令となります。

島田委員長 是非、公民館に理解のある熱意のある人材を要望します。

### (3) 東京都公民館連絡協議会関係について

#### ア 東京都公民館研究大会の記録CD-ROMについて

中嶋館長 配付の時期は、4月上旬を予定しています。

#### イ 平成19年度東京都公民館研究大会第1回企画委員会について

中嶋館長 4月19日(木)午後1時30分から昭島市公民館で第1回企画委員会があります。

#### ウ 平成18年度東京都公民館連絡協議会総会について

中嶋館長 4月18日(水)午後2時からまちだ中央公民館ホールで開催されます。

### (4) その他

#### ア 次回の公民館運営審議会日程について

中嶋館長 4月27日(金)午後2時30分を予定しています。

#### イ 三者懇談会について

中嶋館長 社会教育委員の会議、図書館協議会、公民館運営審議会の委員による三者懇談会は、3月29日(木)午後3時30分図書館地下集会室です。自由懇談会となっています。担当は、図書館となります。

島田委員長 公運審としては、一年以上掛けて精力的に取り組んでいる基本方針づくりの活動、できれば小金井市全体の社会教育という視野で議論ができれば良いと思っています。

## 2 協議事項

島田委員長 これまでの選出は自薦・推薦であり、3期で任期満了になる委員は除

いた方がいい、3期で終わるのは私となります。他に3期はいますか。  
中嶋館長 委員長以外は、2期が4人、他は1期です。

(1) 平成19年度東京都公民館連絡協議会定期総会の代議員選出について  
中嶋館長 公運審から代議員2人の選出についてご協議お願いいたします。  
協議の結果、田頭副委員長、大橋委員に決定

(2) 平成19年度第45回東京都公民館研究大会企画委員の選出について  
中嶋館長 公運審から企画委員1人の選出についてご協議お願いいたします。  
協議の結果、長田委員に決定

## 2 審議事項

### (1) 各館事業の計画・報告について

中嶋館長 公民館本館主催の「親子で食育体験講座～魚を見直そう～」緑センターの家事実習室等で、60人定員のところ小学生48人と保護者を含む68人の参加とスタッフ等を含め90人体制で、盛況に実施されました。なお、当日は市長ご挨拶、教育委員会委員長・委員、議員、社会教育委員、公運審より大橋委員、木村委員に参加していただきました。

島田委員長 シニアや子ども向けの事業が多い中で、主婦の参加できるイベントは貴重で、今後も期待いたします。

企画実行委員や職員の努力で色々な企画がなされる中、参加者の傾向はどのようなものですか。

鈴木主査 高齢者学級や菜園教室につきましては、前年度経験者が参加してもらった方が円滑な運営ができるのでそのようにしています。

またパソコン講座等は底辺を拡大する方向で考え、しばらくの間初級を対象に実施していきたいと思えます。中級、上級希望者については、専門講座を受講していただければと思えます。

長堀主査 パソコン入門講座は、1回受けた方は遠慮していただいていますので100%新人です。但し、他の講座を受けていることはあります。

島田委員長 新しい参加者を開拓していくにはどうしたら良いかがこれからの課題になると思えます。

中福係長との雑談の中で、用意された講座に参加者を増やすことも大事ですが、誰もがふらりとやってきて公民館が立ち寄りの場として機能していくことがとても大事だということを話されていました。

上島主査 講座の受講者は、以前は貫井南町の地元の参加が多かったのですが、最近では貫井北町、緑町、梶野町から参加があります。

竹内委員 今までは、市報に掲載された後で計画の報告があり、公運審が調査審議する余地がありませんでした。今回は、報告16件の内9件が事前に公運審に諮られ、市報で知らせ、実施されることとなります。

私は、公運審の委員が審議をしてから事業を進めるのが正しいのではないかと思います。審議会委員が統括的に年間計画を十分議論した後、

担当者と企画実行委員が検討することも1つの方法ですが、纏めて議論することが今迄難しかったので、その都度計画を建て報告をするという流れになっていました。半分まで事前に計画が出されるようになった関係者の努力に敬意を表します。

島田委員長 目の届いた発言で大事な意味を持っていると思いますが、公運審としては大きな筋で大いに議論したいと思います。

地域ごとの課題や方針を大きな見地で出し、議論し、それを踏まえて職員と企画実行委員とが練り上げ成果を挙げてゆく。

竹内委員 個々の事業に細かく立ち入るのはどうかと思います。事前に方針の議論がされていれば職員と企画実行委員で進めれば良いのです。方針が無いから事前に公運審に話してくださいと申し上げています。全体像を十分議論して、後は各館でやるのが理想だと思います。

大橋委員 それがこれからやる公民館の基本方針だと思います。細かいことは企画実行委員がされているので、骨太の方針を出すことが大事だと思います。

長田委員 東分館の市民講座「エンディングへの生前準備」は、どういう経過でもたれたのか、40人募集のところ69人の方が出席され、出席率88%について説明してください。

長堀主査 企画実行委員会の中で、死を境目にしてその直前と直後の誰もが経験する課題について取り上げてはどうかということが出されました。

具体的に内容を絞って報告の内容となりました。

出席は、5回の内1回以上出席された方が69人です。48人の方が全会出席という結果が出ています。

## (2) 公民館の基本方針づくりについて

島田委員長 3月9日に小委員会を持ち、用意をした叩き台を元に柱建て毎に委員からの意見を付け加えたものが今日の間接報告です。当初の予定は4月ですから、3月後半から4月前半に纏め上げ、4月の公運審に提示したいと思います。この纏めは、公運審として一生懸命考えた意見書であると共に職員と企画実行委員に読んでいただき、3者で本格的な公民館の基本方針づくりに進める一歩にしたいということです。

### 報告書の説明

これから担当毎にご意見ご報告をいただき、小委員会に参加発言の無かった方からも率直な意見をいただき、又小委員会を開いて原案作りを進めていきたいと思っています。

今川委員 小委員に選ばれましたが、委員として日が浅いこともあり、基本方針づくりも勉強段階で、担当分を纏めるのは責任が重く感じています。

一つ一つを小委員会の全員で審議、意見を聞いて進めていったほうが良いと思います。

小委員の中で、大橋委員がメーリングリストを作りました。この方法ですとEメールアドレスをお持ちの方でしたら一緒に原案作りに参加できると思います。

島田委員長 公民館の運営体制や職員体制については、神島委員が努力して下さってアンケートを作っていたのですが、その結果については小委員の中で読み合ってから全体に照会していかないともったいないですね。神島委員に纏めていただくのも大事ですが、生データを皆で目を通すことも大事です。

神島委員 始めに小委員の中で回答を分析して、その中で基本方針に生かしていくと言う考えでどうでしょうか。

— アンケートを委員に回覧する。—

島田委員長 今日で一区切りしたのですが、次の小委員会で見ましょう。

今川委員 委員になって一年半になりますが、公運審と企画実行委員と職員の三者の交流をもっと図ると良いと感じました。

皆さんの意見を聞いて、纏めていきたいと思います。

島田委員長 この審議会は、ほぼ毎月1回開かれ、館長の諮問等に協議、答申という形で努力してきました。でも定例会のあり方を見ると求められたものに応えるという受動的なものから出られず、職員や企画実行委員と一体となって公民館のあり方を協議してゆくという積極的なところが足りなかったと思います。これからそれを果たしてゆかなければいけないと思っていますので、目指すところは今川委員と同じだと思います。

熊谷委員 アンケートの中にある行政のかくれみのとはどういうことですか。

竹内委員 1月の公運審での神島委員の提案にはその表現は無かったのではないのでしょうか。会議録を見るとアンケートの内容について館長と打合せの必要があるとありますが、打合せの後でこの案を作られたのですか。

神島委員 この言葉は、一般的に言われていることです。

熊谷委員 内容は館長と相談されたのですか。責任者は誰になっているのですか。

島田委員長 責任者は私です。今、研究している私たちとしては、どんな意見が市民から出されているかということで作った項目です。

中嶋館長 発信人は島田委員長ですが、送付先は公民館長です。アンケートの回答については、3月19日までということで、本日渡辺社会教育主事から神島委員にお渡ししました。

中福係長 各市からアンケートの到着後、問い合わせがありました。回答がし難い、意味が解らないということでした。職員部会の意見では、混乱しているということでした。

渡辺社会教育主事 アンケート先からの問い合わせで、担当者からの意見と言うことで聞いてください。内部で答えられるかどうかかなり検討しました。その結果何も書かないこととしました。そこは理解してくださいということでした。又、記入した者の責任が問われるので公表される時は事前に教えていただきたいとも言われ、使わずらいとも言っていました。

島田委員長 色々ありがとうございました。責任は一切私にあるわけですが、そういう心配があるので依頼文書にはあくまでも私たちの研究資料とするものとしたものです。

熊谷委員 送り先が館長でなくて委員長のところにしておけば問題は起きなか

った。

島田委員長

その点は当初から気をつけて依頼文に前書きを付けたんです。従って審議会でのかくれみの的な表現がありますが、さして問題にするようなことではない。行政側からすれば、問題になるような意見があるかもしれない。あくまで一般的な審議会としての説明です。

議論の中で3点あったと思います。

1点は、どういう前提で依頼したのか、依頼文で説明したとおりです。

2点は、かくれみのという言葉が与える影響について、心配を与えたということ。3点は、その項目はいつ誰の手で入れたかはっきりしない点です。

中嶋館長

最終案を見たのは発送された後でした。

島田委員長

それは行政内部の問題です。もし前もって館長が見たら出さないということですか。

中嶋館長

それは検討しなければなりません。事前に公運審の全委員にファクシミリ等で送信して確認をするものかと思っていました。現実には色々なところから電話がありました。

竹内委員

委員長は公民館内部の問題だと言いましたが、私は聞いていませんでした。

島田委員長

公運審の責任で出した項目については、館長が言ったように最終案をファックスなり皆さんに知らせるべきであったことはもっともな意見です。しかし、必要項目については、運営審議会の責任で独自の行動ですから干渉されることではない。

竹内委員

前回の議事録の13頁にあるように神島委員と公民館が良く打合せをするようにと。

島田委員長

そのことについては、私が責任を負います。熊谷委員からの指摘について、返信のあて先について館長名であったかどうかは知らないです。

渡辺社会教育主事

アンケートの照会先からは、同じ公民館職員として心配し、誤解されないようにとの好意的な意見がありました。

島田委員長

公運審として報告を纏めた段階で、公表をどうするかは委員に諮ります。アンケートの照会先に私共の研究を深めることができたことについての感謝とご迷惑をおかけしたことのお詫びを出したいと思います。

公運審から公運審に出せば問題は少なかったと思います。

神島委員

各公民館では公運審と協議をして回答してくれると思っていました。

島田委員長

神島さん依頼文の前書きを読み上げてください。

神島委員

前書きを読み上げる。

「日夜公民館活動の発展に力を尽くされておられることに敬意を申し上げます。

さて、私ども小金井市公民館運営審議会では、この間、当市の公民館活動のあらたな発展方向を求めて研究討議を重ねて参りましたが、このたび是非他市の状況を参考に検討を深めたいと存じ、いくつかの質問をさせていただきたいと考えました。

お忙しいところを大変に恐縮ですが是非お力をお貸し下さい。これ



は、あくまでも私たちの研究資料とするものでありまして、いただいたご回答については公表せず、当市の公民館活動方針に直接反映させたり他市の公民館活動に何らかの影響を与えたりすることのないよう厳に慎むものであります。この点をどうぞご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。」

中 福 係 長      この件については職員部会で、そのように受け取った所はありませんでした。委員長から委員長宛に出すべきでした。

島田委員長      公民館長への回答は予想していなかった。あて先を委員長にすればよかった。

小委員でない方々にも、どの項目でも良いですからできるだけ早く、ご意見を送ってください。4月中に小委員会を2回開らく必要があるのです、本日終了後日程を決めたいと思います。

大 橋 委 員      私たちはメールを活用しています。もしよければメーリングリストで意見交換の場を作るということではどうですか。

今回のアンケートの件も私たちは知らなかったわけです。メールで流してくれれば良かった。

島田委員長      作るの難しいアンケートでした。公運審全体で作ったものではなかったのです、こういう問題となりました。これまでのご意見を今後に活かし、良い基本方針を作りたいと思います。

島田委員長      第16回審議会を終了いたします。